

第二十二回帝國議會
衆議院

鐵道國有法案及京釜鐵道買收法案委員會會議錄(速記)第五回

會議

明治三十九年三月十三日午前十時五十分開議

出席委員左ノ如シ

長谷場 純孝君	大岡 育造君	山本 幸彦君
恆松 隆慶君	北村 左吉君	大野 久次君
牧野 元君	柳田 藤吉君	新井 章吾君
野田 卯太郎君	中倉 万次郎君	渡邊 修君
奥野 市次郎君	後藤 文一郎君	長 晴登君
高橋 安爾君	加藤 政之助君	武富 時敏君
根津 嘉一郎君	金岡又左衛門君	鈴木 久次郎君
西村 丹次郎君	坂口 仁一郎君	村松 龜一郎君
井上 要君	西村 眞太郎君	大戸 復三郎君
藻寄 鐵五郎君	雄倉 茂次郎君	南條吉左衛門君
岡田 治衛武君	服部 小十郎君	安達 謙藏君
石塚 重平君	久保 伊一郎君	松本 恆之助君
淺野 陽吉君	早速 整爾君	大繩 久雄君
小田 貫一君	石田 貫之助君	板東 勘五郎君

出席國務大臣左ノ如シ

逓信大臣 山縣伊三郎君

陸軍大臣 寺內 正毅君

出席政府委員左ノ如シ

逓信次官 仲小路 廉君

逓信省鐵道局長 山之内 一次君

鐵道作業局長 平井晴二郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

鐵道國有法案

京釜鐵道買收法案

○委員長長谷場純孝君 是ヨリ鐵道國有法案ノ委員會ヲ開キマス

○武富時敏君 過日來、諸君ノ質問ニ對スル 政府ノ答辯ヲ私ハ餘程注意致シテ聞イテ居リマシタガ、ドウモ一トシテ要領ヲ得タル答辯ハナイヤウニ思ヒマス、畢竟諸君ノ質問テ數箇條ヲ竝ベテ、同時ニ御質問ニナルタメニ、答辯者モ餘程苦シデ、他ノ方ハ胡麻化シテシマフヤウニナリテ居ルカト思ヒマスガ、私ハ一ツツ、質問ヲシタイ、ソレデドウツ度ニ發言ヲ御許シニナランコトヲ豫メ委員長ニ願フデ置キマス、先ツ格別重大デハナイヤウナ事カラ、御尋ヲ致シマス、此五年間ニ三十有餘ノ會社ヲ買收スルト云フコトニナリテ居リマスガ、買收ノ順序ハドウナサルノデアルカ、金高ニ依リマスルト、四億何千萬、殆ド五億圓ニ垂ントスルモノデアル、是ヲ五箇年ニ買收スルト言ヘバ、一年ニ一億圓ノ買收ヲスルト云フコトニナル、所ガ一會社ニシテ一億圓以上ノモノガアリ、小ナルノハ三十

一萬カ、五十萬ノモノモアル、ソレデ金高ニ依ッテ年割ニスルコトハ、到底出來マイ、就イテハ例ヘバ今年ハ日本鐵道ヲ買ヒ、來年ハ山陽ヲ買ヒ、再來年ハ九州ヲ買フト云フヤウナ順序ハ、固ヨリ當局者ノ方ノ目安ニ立ッテ居ル答デアリ、又立ッテ居ラナケレバ、五箇年間ト云フ期限ハ立テヤウガナイ答デアル

○政府委員仲小路廉君 向フ五箇年間ニ買收ヲ致スト云フコトハ、此法律ニ規定シテアル通、サリナガラ此五箇年間ニ、ドノ鐵道ヲ先キニシ、ドノ鐵道ヲ後トニスルト云フコトハ、極メテ居リマセヌ、又政府ハ向フ五箇年間ニ買收ヲ致ス積デアリマスケレドモ、是ヲ年度割ニ積ッテ年々幾ラト云フヤウナ割合ハ極メマセヌ、詰リ財政ニ影響ヲ及ボサヌ限ニ於テ、適當ノ時期ニ於テ、之ヲ買收スルト云フ考デス

○武富時敏君 サウスルト五箇年間ト云フノハ何カラ割出シタモノデスカ

○政府委員仲小路廉君 此點ハ過日來大藏大臣ヨリモ屢々説明シタ如ク、金融ノ關係、竝ニ財政上ノ關係カラ相當ノ年限ヲ置イテ、サウシテ財政上ニ餘リ影響ヲ及ボサヌ範圍ニ於テ、調和シヤウト云フタメニ、年限ヲ盛ッテ譯デアリマス、サリナガラ此鐵道ヲ買收スル金額ヲ、五箇年ニ割ッテ、五箇年ノ年度間ニ——年度割ニ買收スルト云フコトハ、是ハ到底豫定ノ出來ナイコトデアリマスカラ、又鐵道ノ性質トシテ、サウ云フ風ニ、五箇年ニキッパリ割ルコトハ出來マセヌ、要スルニ此年限ヲ著ケタノハ、財政ノ調和ヲスルタメニ、適當ノ時機ニ於テスルト云フ見込デス

○武富時敏君 五箇年ト云フ年限ハ、專ラ財政上ノコトカラ來タルト云ヘバ、若シ財政上ノ都合ガ惡クテ、經濟市場ノ狀況、何分多額ノ公債ヲ發行スルヲ許サヌト云フコトデアレバ、此買收ハ止メルノデアリマスカ

○政府委員仲小路廉君 此點モ過日來大藏大臣ヨリ、屢々述べラレタ如クニ、此五箇年間ニ於テ、相當ノ時期ヲ見計ッテ、是ダケノ公債ヲ出スコトハ、財政ニ影響ヲ及ボサヌ範圍ニ於テスルト云フコトハ屢々言ハレテ居リマス、併ナガラ是ハ經濟上ニ付イテ一定シテ置ク譯ニハ參ラヌ、而シテ其期間ノ財政上ノ影響ガ、サシテ及ボサヌト云フ場合ニ、三分ノ一ヲ一年ニ買收シテシマウカモ知レナイ、詰リ其額ヲ豫定シマセヌデ、時ニ應ジテ適當ノ方法ヲ執ル積デ、五箇年以内ニハ、政府ハ悉ク處分スル積デアリマス

○武富時敏君 ソレハイアレ財政ニ關シマスカラ、大藏大臣カ出席シマシタ上ニ、復御尋シマス、次ニ五箇年間ニ買收スル、サウスルト最後ニ買收サレル、即チ五箇年ノ後ニ買收サレル鐵道ト云フモノハ、五箇年前、三箇年ノ營業成績ニ依ッテ買收スルト云フデカラ、八年前ノ營業成績ニ依ッテ買收スルト云フコトニナル、其期間が大變長イ、ソレ故ニ今年マデハ格別益ノ擧ラナカッタ鐵道ガ、五箇年ノ後ハ收益ガ非常ニ増スヤウナモノモ出來ヤウ、又今日ハ可ナリノ收益ナルモノモ、五箇年ノ後ニハ收益ノ減少スルモノモアラウ、ソコデ若シ將來收益ノ増加スル大イニ見込アル鐵道ハ、五箇年以前ノ營業成績ニ依ッテ買ハレバ、鐵道ノタメニハ不利益デアリ、買收スル者ハ非常ニ德ニナル、之ニ反シテ將來見込ナイ鐵道ハ、近頃ノ營業成績ニ依ッテ、買收價格ヲ定メラレタ

方が德ヲアツテ、政府ハ不得策デアル、是ハ甚ダ不確カナ積方デアラガ、ドウ云フ譯デスカ

○政府委員仲小路廉君 買收年限ヲ五箇年ニ致シテ故ニ、最後ニ買ハレルモノハ明治四十四年トナル、明治四十四年ニ買收スルモノヲ、明治三十八年度以前ノ狀態ヲ以テ、率ヲ定メルノハ不穩當デハナイカト云フ御尋デアリマスガ、是ハイロ／＼御意見ハアラウト思ヒマスガ、政府ガ此法律ヲ定メシテ趣意ハ、實際ノ弊害モ一方ニ慮ラネバナラヌ譯デ、假リニ明治四十四年ニ買收スルモノヲ、唯一片ノ道理ヲ通シタメニ其最近ノ率ヲ以テ、價格標準ヲ定メマス、明治四十四年ニ買フモノハ、明治四十三年度、四十二年度、四十一年度ノ割合ヲ標準トセメケレバナラヌコトニナル、所ガ明治四十一年、四十二年、四十三年ト云フ時ハ、此法律ガ發布サレテカラ後ノコトデアリマス、而シテ若モ會社ノ方デ唯此買收價格ヲ増サウト云フコトニ意ヲ用非マスルナラバ、ソレコソ鐵道ハ虐使虐待ヲ致シテ、唯買收價格ヲ増サント望ムニ相違ナイ、斯ナリマスレバ勿論一面ニ相當ノ監督ハ附ケテ置カケレバナラヌケレドモ、ソレヨリ社會ニ及ボス弊害ハ少ナカラヌコトデアリマス、故ニ政府ハ豫メ此等ノ弊害ヲ防ギ、且ツハ實際ノ害惡ニ顧ミテ、サウシテ此價格ヲ定メルコトガ、此法律ガ發布サレテ後ニ、自由ニナラヌ方法ヲ執ラヌデ、既往ニ屬スルモノヲ以テ動カスベカラサルモノト見テ、之ヲ標準トシタ譯デアリマス、要スルニ是ハ實際ノ弊害ヲ避クルタメニ、此法律發布後ニ自由ニナラナイモノヲ標準トシタ故ニ、明治三十八年度以前ノモノヲ以テ、基礎トシタデアリマス

○武富時敏君 ソレガ法律ガ發布後デモ、隨分弊害ハ起ルデアラウト思フ、此法律ガ發布セラレテ、其弊害ヲ防グト云フデモ、法律ヲ濫用シテ隨分鐵道ヲ虐使スルナリ、何カスルニ相違ナイ故ニ、此買收ノ方法ハ不確カト思ヒマスガ、ソレハ差措イテ、虐使スルト云フコトニ付キマシテ、想ヒ起スノハ、此戰爭ニ付キマシテ、二年間バカリト云フモノハ、各鐵道ハ隨分無理使ヒラシテ居ル、ソレガタメニ線路ノ修繕、或ハ破損ノ事柄等モ、修繕ヲ怠ラシテ居ルヤウナコトガ澤山アル、現ニ各鐵道會社カラ、車輛ヲ滿洲ニ送ツテ、ソレガ破損シタ數々少ナカラヌデアアル、ソレ故ニ九州山陽ハ社債ヲ起シテ、其社債ハ單ニ延長、若クハ改良ト云フバカリデナク、戰爭中二年間ニ無理使ヒラシテ、線路及車輛ノ方ノ修繕ノタメニ使フ金モ少カラヌ高デアアル、山陽九州既ニ然リ、官線其他ノ鐵道モ此二箇年間に矢張破損ヲ來タシテ、今後修繕ノタメニ非常ニ金高ヲ要スルコトニナルト思フ、其邊ハ買收ヲ思立タレタ政府ニ於テ、十分ニ取調ガアルト思フデマスガ、全國ノ各鐵道ヲ買收シテ、復舊工事ヲ施シテ、戰爭ノ疲レヲ恢復スルタメニハ、ドノ位ノ金高が必要デアリマスカ、ソレヲ御尋ネ致シマス

○政府委員山之内一次君 唯今ノ御尋ニ對シテ御答ヲ致シマス、戰爭中ニ大分荷物ガ多イ、又滿洲ニ車輛ヲ送りマシタメニ、餘程各會社ヲ虐使ヲ致シマシテ、修繕ヲ要スルモノガ、多イダラウト云フ話デマスガ、普通ヨリ多イコトハ確カナ事實デアリマスガ、併ナガラ修繕ト云フモノハ、毎年修繕費ヲ營業費ノ中ニ置キマシテ、其營業費ノ中カラ修繕ヲ致シテ居ルモノデアリマスカラ、買收ヲ致シタメニ、特別ニ政府ガ修繕ヲ要シナケレバナラヌト云フコトハナイ積デアリマス、又法律ノ上ニモ書イデアリマスガ、若シ買收ノ時分ニ修繕ヲ怠ツタモノガアリマスレバ、其修繕ニ要スルタメノ金額ハ、買收ノ價額ノ中カラ

差引クコトニナッテ居リマス、ソレデ殊更始終監督ヲ致シマシテ、修繕ヲ促シテ居リマスルシ、又會社ノ方デモ自分ノ不利益ニナルマデ、修繕ヲ怠ルト云フコトハアリマセヌカラ甚シク破損ヲシテ居ルト云フコトハ、認メテ居リマセヌ

○武富時敏君 修繕ヲ怠ルト云フデモ、殊更ラニ怠ルノハ別段ノ話デマスガ、現ニ山陽デモ、九州デモ、數千萬ノ社債ヲ募集スル、其中ニ戰爭中ニ破損シタ物ヲ恢復スルタメニ遣フ金ガアル、九州山陽既ニ然リ、其他ノ各鐵道モアルニ相違ナイ、ソレニ付イテ取調ヲセズシテ、漫ニ現在ノ儘買收スルコトニナレバ、直チニ多額ノ金ヲ出シテ復舊ノ費用ニ充テナケレバナラヌト思フ、其邊ノ取調ハナイノデスカ

○政府委員山之内一次君 山陽九州ノ社債ヲ起シテ修繕ヲスルト云フコトニ付キマシテハ、ドウ云フ金ノアルカト云フコトハ、承知致シマセヌケレドモ、修繕費ト改良費トハ、自カラ違ガアリマスノデ、改良費ノ方ハ資本勘定ノ方デ參リマスノデ、資本勘定ノ建設費ノ中カラ積立ラスルノデアリマスシテ、修繕費ノ方ハ年々ノ收益勘定ノ中カラヤリマスノデアリマスカラ、收益ノ損失ト云フモノハ、政府ガ繼承スベキモノデアリマセヌ

○岡田治衛武君 本員ハ遞信大臣ニ御尋ネ致シマスガ、段々先日來大體ニ付イテノ各員カラ御質問ガアリマシテ、中ニハ要領ヲ得ナイ御答モアリマシタガ、併ナガラ既ニ質問ノ出タコトヲ申スノデアリマセヌガ、茲ニ一二御尋シタイハ、第一提出案ノ第一條ニ「一般運送ノ用ニ供スル鐵道ハ總テ國ノ所有トス但一地方ノ交通ヲ目的トスル鐵道ハ此ノ限ニ在ラス」ト云フコトガアリマスガ、此「一地方ノ交通」ト云フコトニ付イテ、餘リ是ダケデハ漠然トシテ要領ヲ得マセヌガ大體一般運送ト云ヘバ、如何ニモ廣イ言葉デアリマスガ、約メテ言ヘバ、旅客ノ運送ト貨物ノ運送トニツニナル、ソレデ此「一地方ノ交通」ヲ目的トスル鐵道ハ此ノ限ニ在ラス」トアル、此「一地方ノ交通」ト云フノハ、旅客デモ貨物デモ共ニ一地方ノ交通アルナラバ旅客デモ、貨物デモ、何レデモ許スト云フヤウニ法文デ見ルト、サウナッテ居ル、所ガ先日ドナタカノ質問ニ對シテ、遞信大臣ハソレハ或物

石炭ナラ石炭一地方デ運輸スルモノニ限ルト云フヤウナ御答ガアリマシタガ、法文ノ上デハ矢張ハ一般運送ノ用ニ供スルモノデモ、一地方ニ限ルモノハ許ス、斯ウ云フヤウナ意味ニナッテ居ル、之ヲ要スルニ、此一地方ト云フモノ餘リ漠然トシテ居ル、例ヘバ甲地ヨリ乙地ニ至ルニモ、一郡ノ中デ目的地ニ達スルコトモアリ、或ハ數郡ニ互ルモノモアル、若クハ唯一縣下デナク、二縣ニ互ツテモ矢張一地方ハ一地方デアル、ソレデ此一地方ト指スノハ、凡ソドノ位ノ程度ヲ云フノデアアル、ソレカラ一ツハ今ノ如ク一地方ノ交通機關ナラバ、旅客モ貨物モ此限ニアラズト云フノデアアル、或ハ旅客ナリ貨物ナリ一地方デモ許スト云フノデアアル、其邊ヲ明カニ御答ヲ願ヒマス、ソレカラ第二、此政府ノ提案デ見マスルト云フト、買收スベキ鐵道ハ三十二會社ニナッテ居ルハ或ハ世ノ中ニハ日本ノ脊髓線、動脈線トモ云フベキ、十六七會社ヲ買收ヲシタナラバ、ソレデ大體運輸機關ノ統一モ出來ルデアラウカト云フ議論モ世ノ中ニアル一種ノ議論デアリマスガ、政府ハ是ノ如ク三十二社ノ現存スルモノヲ買收シナケレバ、機關ノ統一、國運ノ發展ト云フモノハ目的ヲ達セラレヌト云フコトデアリマスカ、又ハ事ニ依リテハ大動脈タルコロノ、最モ必要ナル十六七會社ヲ買收シテ、以テ目的ガ達シ得ラレト云フ御考ハナイカ、是ヲ一ツ政府委員ノ意思ヲ明カニシテ貰ヒタイ、ソレカラ第三、第五條ノ一項ニ益金ノ平均割

府委員ノ意思ヲ明カニシテ貰ヒタイ、ソレカラ第三、第五條ノ一項ニ益金ノ平均割

合フ、買收ノ日ニ於ケル建設費ニ乗シタル額ヲ二十倍シタル金額トアル、是又二十倍
デ高イ廉イトカニフコトハ別論トシテ、賣ル人ト國ガ買フト云フ間ニ於テハ、賣ル者ハ二
十倍ヨリ以上ニモ賣リタイト云フ考モ起リマセウシ、又買フト云フ上ニ付イデハ、勢ヒ十
七倍、八倍——廉イ方ガ宜イト云フコトハ、是ハマア勢ノ然ラシムルコロデアリマス、廉
イモ高イモ標準ノ取方デアリマスガ、平均割合ヲ此建設費ニ乗シタル額ノ二十倍、斯ウ
御定メニナタ意思ハ、即チ買收シテ買上ゲルコロノ公債、即チ之ヲ受ケタル人ガ、他日
得ルコロノ利率ヲ主トシテ、此二十倍ト云フモノヲ御積ニナタノデアルカサウスルコト云
フト鐵道其物ノ價值、所謂將來ニ於テ發達シ得ベキ利益ノ多イモノ、將來ニ向ツテ利
益ノ少ナイト云フ鐵道其物ノ價值ニハ思フ及ボサナカッタノデアルカ、諸表ヲ見マスル
成程率ハ明カニ掲ゲテアリマスケレドモ、大體二十倍ガ至當デアルト云フ政府ノ意思ノ
固ツタコロハ、ドノ邊カラ御見込ヲ御立ニナタノデアルカ、是ヲ一ツ明カニ御示シテ願
ヒタイ、唯賣主ガ、即チ株主ガ、公債ニ換ヘラレタ後ト得ルコロノ利率ガ各種ノ標準
ニ主トシテナッデ居ルカ、鐵道其物ノ後來ノ價值ヲ見込シテ、二十倍ガ至當デアルト云
フノデアルカ、此邊ヲ一ツ明カニ御示シテ願ヒタイ

○野田卯太郎君 一ツ明カニ御示シテ置キマスガ、唯今 武富君カラ質問ガアリマシタ、
五年間ニ買上ゲル鐵道——初メノヤツハ兎モ角モ、終リニ買ウヤツハ大變ニ期間ガア
ル、其期間ハ即チ此明治三十五年ヨリ八年ノ前半期、三箇年ノ價格ヲ極メテアルモ、
其買上ゲルマデニ、非常ノ變動ガアリハシナイカ、今マデハ惡ルイ鐵道デアッテモ、買上ゲ
ル際ハ大變ニ利益ノアル鐵道ニナルコトモアルデヤラウ、又今マデ利益ガ澤山アル鐵道
モ、其際ハ利益ガナイヤウニナリハシナイカ、是ノ如キコトハ、ナカ——能ウ其調ベテ置カ
ナケレバナラヌ問題ト私ハ思ヒマスガ、鐵道ト云フモノハ、是マデノ實驗ガアルモノデア
テ、武富君ノ言フカ如キ變動ハ、ドレ——鐵道ニアツタカ、既往ノ實驗ヲ調ベタナラバ、
大概分ラウト思ヒマスガ、其御調ガアリマスガ、アリマセウシ、御調ガアレバ貫ウテモ宜シ
ウゴザイマスシ、又御記憶ガアレバ、御答辯ヲ得テ置キタイ

○政府委員仲小路廉君 岡田君ノ御尋ニ向ツテ御返答ヲ致シマス、岡田君ノ御尋ノ
第一ノ點ハ、此國有法案ノ第一條ニ規定シテアル「一般運送ノ用ニ供スル鐵道ハ總テ
國ノ所有トス、但シ一地方ノ交通ヲ目的トスル鐵道ハ此限ニ非ス」此法文ノ規定ノ趣
意ニ關スル御質問ト心得マシタ譯デアリマス、過日此點ハ逓信大臣ヨリモ述べラレマシ
タ通ニ、此法文ノ趣意カラ申シマスレバ、一般運送ノ用ニ供スル鐵道ハ、總テ國ノ所有
デアル、即チ此意味ハ詰リ此專用ニ關スルモノニ對峙スル場合デアリマシテ、一般即チ公
衆、總テヲ相手ニシテ運送ノ機關タル鐵道ハ總テ國ノ所有デアル、隨ッデ此一地方
ノ交通ヲ目的トスル鐵道デアリマシテハ鐵道其物ガ一般運送ノ用ニ供スル鐵道デアリマ
スレバ、是モ同様國ノ所有ニナリ得ルコトガアル、併ナガラ同ジ此一般運送ノ用ニ供スル
鐵道デアッテモ、單ニ此一地方ノ交通ノミヲ目的トスルモノハ、必シモ政府ハ持タナ
イ——、必シモ政府ハ持タナイ、斯ウ云フ趣意デアリマス、隨ッデ過日 逓信大臣ガ述ベ
ラレタ自家專用ノ鐵道ハドウナル、即チ運炭線ノ如キモノハドウナルト云フト、是ハ政府
ハ持タナイ、其持タナイ趣意ハ、但シ一地方ノ交通云々ト云フ但書デナクテ、ソレハ前
文ノ一般ノ運送ノ用ニ供スル鐵道デハナイ、ソレハ自家專用ノ運炭鐵道デアルカラ、斯

ルモノハ第一條ノ法文ノ主タル上カラ、一般運送ノ用ニ供スル鐵道デナイ意味ニ於テ、
國ハ持タナイ、ソレカラ又一地方ニ關係シマスル分ハ、是ハ一般運送ノ用ニ供スル鐵道
デアアルカラ、國ガ持ツコトモアル、又サウ云フモノハ、必シモ國ガ持タヌコトモアル、斯ウ云フ
意味デアリマスノデ、此但書ノ趣意ハ、第一條ノ前文ニ對シマスルモノト對立スルニ非
シテ、ソノ中地方ノモノハ必シモ政府ガ持タヌコトガアル斯ウ云フ趣意デアリマス、其
第二條ニ記載シマシタ三十二會社、此會社ニ對シテ岡田君ノ御尋ノ趣旨ハ、此
中十六七ノ會社ニ極メテ見タラドウデアアルカ、政府ハ三十二會社ノ總テヲ持タナケレ
バイケナイカドウカ、斯ウ云フ御尋デゴザイマスガ、政府ハ三十二會社、即チ此第二條ニ掲
ケマシタ會社ノ鐵道ヲ買收スルコトヲ必要ト認メマシタ譯デアリマス、其理由ハドウ云フ
譯デアアルカト云フコトデゴザイマスガ、是ハ各會社ガ分立ヲ致シテ居ッテ、諸方ニ割據シテ
居ルコトガ、統一ノ目的ガ達セラレナイ故ニ、鐵道ヲ統一スルト云フ上カラ、是等ノ會社
ノ總テヲ買收シマシテ、一ノ下ニ經營ヲシテ往キタイト云フ趣意デアリマス、之ニ付キマシ
テハ、イロ——御意見モアリマセウシ、御論モゴザイマセウガ、政府ガ提出シタ案ノ趣旨ハ、
唯今申ス通りノ次第デアリマス、ソレカラ第五條ノ價格ノ定メ方デゴザイマスガ、是ニ付
イデハ唯今鐵道局長カラ、其定メマシタ割合ノコト御尋ノコトニ向ッデノコトハ、御返答
致シマス

○政府委員山之内一次君 岡田君ノ御質問ハ、此價格ヲ二十倍ニシタノハドウ云フ
譯カト云フ御尋ニ付イテ、初ニ御答致シマス、ソレハ丁度岡田君ノ御話ノ通ニ、利益ト
云フモノヲ元ニシタノデ、即チ二十八年ノ上半期カラ遡リマシテ、三箇年ノ、即チ六營
業年度ノ建設費ニ對スル利益ノ平均額ガ、其鐵道ノ當然生ズベキ益金デアルト云フコ
トヲ、政府ハ見テ居リマシタノデアリマス、即チ言換ヘテ見マスルト、其鐵道ノ直打ガソレ
デ分カレモノト云フ趣意デ出シマシタノデアリマス、ソレデ株ノ價格トカニフヤウナコトガ、私
設鐵道法ニアルト、株ノ價格ト配當金ノ平均トヲ見テ、其廉イ方デ二十五箇年ニ達シ
タモノヲ買入レルコトニナッデ居リマスガ、此御尋ハソレハ少シ方法ヲ變ヘテ、二十五箇
年ニ達セヌノ買入レデアリマスカラ、ソレヨリハ少シ標準ノ立タ方ガドチラガト云フト、會
社ノ利益ノ方ニ立テタノデアリマス、ソレデ其會社ノ價格ト云フコトハ考ヘナイカト云フ
ヤウナ御話ガアリマシタケレドモ、ソレハ三箇年ノ利益ノ平均ヲ見タノガ、即チ其會社
ノ直打ト云フモノニ見マシタノデアリマス、ソレデ其鐵道ハ此後建設ヲ致シマシテモ、
其三箇年ノ平均ダケノ利益ハ、建設費ニ對シテ、三箇年ノ平均ハ必ズ產出スルモノ
ト云フ前提ニナッデ居ルノデアリマス、ソコデ買收ノ日ノ建設費ニ、三十八年度ノ上半期
カラ遡ッテ六營業年度ノ平均ノ建設費ニ對スル利益ノ割合ノ平均ト云フモノヲバ、買
收ノ日ノ建設費ニ掛ケマシタ、即チ買收ノ當時ニ鐵道ガ成立ッテ居リマスル、建設費ノ
凡テノモノガ產出スル益金ト云フモノガ出ルノデアリマス、其益金ト云フモノガ、即チ其鐵
道ガ產出スル鐵道ノ相當ノ價值ト見得ルモノデアリマスカラ、其二十倍ト云フ意味ハ、其
益金ダケノモノヲバ、何時デモ得タル元ヲ出サウト云フノガ、二十倍ト云フ趣意デアリ
マス、ナゼ二十倍ニシタカト云フト、五分ノ公債證書デ渡サウト云フ考ガアルカラ、二十倍
トナルノデアリマシテ、若シ之ガ四分ノ公債デアリマスナラバ、二十五倍ニナル、即チ四分
ノ公債デアルト、丁度其益金ノ二十五倍ト云フモノヲヤリマス、其公債カラ年々同ジ

利子ヲ產出シテ來ル、即チ其當時ノ建設費ガ產出ス利益ダケハ年々得ルコトニナル、即チ二十倍トシテ五分ノ公債ヲ渡スノアリマスカラ、二十倍ト申シマス、其五分ノ公債ノ額面ヲ賣ヒマスルト、丁度利子ト云フモノハ前ニ買收ノ日ニ掛ケマシタダケノ、其出タ金高ト云フモノヲ、年々其公債カラ得ルコトニナリマスカラ、ソコデ二十倍ト云フモノガ出テ來タノアリマス、ソレカラ、次ニハ野田君ノ御尋ニ付イテ御答致シマスガ、此鐵道ニモ矢張年々多少ノ利益ノ相違ト云フモノハ勿論アリマス、多少波形ニナリテ居リマス、波形ニナリテ居リマススケレドモ、大體ハ先ツ少シツ、ト云フモノハ、其割合ガ上ツテ來テ居リマス、ソコデ先般差上ゲマシタ此表ニアリマスモノモ、即チ十年間ノ増進歩合ヲ見テ平均率ト云フモノガ出テ居リマスガ、アレノ示シマス通、多少ハ増進スルト云フ傾向ニナリテ居リマス、併ナガラ、其間ニハ或ル年ハ多少前年ヨリ減ルトキモアリ、又増ストキモアルト云フ事實ニナリテ居リマスガ、押ナベルト云フ、先般御示シ致シタヤウ十年間ノ増進歩合ト云フモノガ出ルノアリマス、ソレニ付イテ尙詳シイ實數ヲ示スコトモ出來マススケレドモ、ソレハ大分煩雜ニ互リマスカラ、若シ御必要ガアリマスレバ後トデ……

○野田卯太郎君 既往ニ於テハ、大シタ變動ハナイト、見テ宜イノデスカ

○政府委員山之内二次君 平均致シマス、此乙ニモ、甲ニモ示シテアリマス如ク、多少ノ増進率ガ出テ居リマスカラ、長キ間ノ平均ヲスルト、多少ツ、八年々増シテ往クノデアリマス

○岡田治衛武君 唯今ノ政府委員ノ御答辯ニ付イテ確カメテ置キタイ、マダ十分要領ヲ得マセヌ、一地方ノ交通云々ノコトヲ、今少シ詳細ナ御答ヲ戴キタイ、私ハ唯今ノ御答ヲ承タトコロデハ、斯ウ解釋シテ居ル、唯一地方ノコトハ一般運送ノ用ナケレバ許ス、此限ニアラズト云フ制限ヲ設ケタト云フ御話デゴザイマスガ、ソレデアルト本員ノ質問シタコロトハ、少シ意味ガ間違ッテ居ル、モウ少シ詳シク御答ヲ戴キタイト云フ考デアリマス、一地方ノ交通デアレバ、旅客貨物等ノ交通ヲシテモ宜イノデアルカ、ドウカ旅客若クハ貨物ダケニ止マルモノデアルカ、之ヲ一ツ十分ニ御答ヲ戴キタイ、次ニ一地方ト云フモノガ、唯今ノ御尋デ若シ御了解ガ出來ナケレバ、私がモウ一ツ割ッテ申シタナラバ、十哩ノ鐵道モ一地方デアリ、二十哩ノ鐵道モ一地方ニナリ、乃至五十哩ノ鐵道モ一地方ニナルガ、凡ソ一地方ト云フ解釋ハドノ位ノ政府ハ御見込デアルカ、何ノ程度ニシテ此一地方ト云フモノヲ定メルカト云フコト、此二ツニ付イテ詳シイ御答ヲ願ヒタイ、ソレカラ第一ノ御尋ニ對シテハ、略々分リマシタガ、サスレバ政府ハ極ク平タク申スト、三十二社ヲ買收セヌケレバ、交通機關ノ統一ト云フコトニ満足ヲ有シナイ、斯ウ云フ意味デアリマスカラ、ソレガ減ッテハイケナイ、ドウシテモ十七八會社ト云フヤウナ半端デハイケナイ、是非トモ三十二會社ヲ一括セヌケレバ、交通機關ノ統一ト云フ目的ガ達セラレヌ、利益ノ目的モ達セラレヌト云フ意味ニ承テヤウニ思ヒマスガ、サウ心得テ宜カラウカ、ソレカラ第三ノ質問ニ對シテハ、稍々詳細ナル御答ヲ戴キマシタガ、但之ヲ束ネテ申スト云フ、詰リ三箇年ノ收益ガ即チ根本トナツテ、ソレガ鐵道ノ價值デアル、價格デアルト云フコトヲ歸シテシマウヤウニ思ヒマスガ、果シテサウ心得テ宜シイカ、是ダケ明カニ御答ヲ願ヒマス

○政府委員仲小路廉君 岡田君ノ第一ノ御尋ハ、第一條ニ關シマスル點デゴザイマスルガ、是ハ先刻私カラ御返答致シマスル時分ニ、其意味ノコトハ明カニ申上ゲマシタ積デアリマスガ、唯今御尋ネノ趣意ニ依リマスレバ、第一條ノ但書ニ書イテアル、一地方ノ交通ヲ目的トスル鐵道ハドウ云フモノデアルカ、旅客ノミ取扱フベキモノデアルカ、貨物ノミ取扱フベキモノデアルカ、左様ナ區別ハゴザイマスヌデ、旅客ヲ取扱フベキモノモ、全般ノ公衆ヲ相手ニ致シテ居ルモノナラバ、一般運送用ニ供スル鐵道又貨物ニ對スルモノモ同様デアリマス、前ノ旅客ト兩方取扱フモノ同様デゴザイマス、是ハ詰リ自家專用ノ鐵道ニアラザル公衆ヲ相手ニ致シマスレバ、即チ一般運送地方的ノモノモ、矢張同様ニ是モ同様一般ノ運送用ニ供スル鐵道デアル、併ナガラ一地方限ノモノデアラナラバ、必シモ、國デ持タナイコトモアル、斯ウ云フ趣意デアリマス、ソレカラ尙一地方ノ交通ヲ目的トスル鐵道ト云フモノハ、十哩ノモノハドウカ、二十哩ノモノハドウカ、是ハ一々哩數ニ依ッテ區別ヲ立テルト云フ譯ニ參リマス、サリナガラ長イ哩ニナリマスレバ、自然一地方ノモノデアナイ、局地ノモノデアナイ、局部ノモノデアナイ、詰リ但書ニ記載シテ居ル鐵道其ノモノハ、一般ノ運送用ニ供スル鐵道デアデモ、局地局部ノモノハ、必シモ政府ガ持タナイコトモアル、斯ウ云フ趣意デゴザイマス、ソレカラ第二條ニ付キマシテ、三十二會社ヲ記載シタ分ハ、是ハ既ニ先刻申ス通、政府ガ鐵道ヲ統一致ス上ニ於テ、三十二會社ヲ買收致スコトヲ必要トスル譯デアリマス

○政府委員山之内二次君 岡田君ノ御尋ニ付キマシテ御答ヲ致シマス、價值ト云フコトノ意味ハ、取扱デスケレドモ、政府ノ此度取リマシタノハ、其利益ヲ生ズル利益ト云フモノガ、先刻岡田君カラ話ガアッタ利益ト云フモノガ元ニナリテ居ル、其利益ヲ生ズルダケノ元金ガ其鐵道ノ價值ト云フコトニナル積デアリマス

○武富時敏君 此參考トシテ差廻ニナリテ居ル表ノコトニ付イテ御尋ネ致シマス、此四十年計畫ノ表ハ、吾々ハ餘リ重キヲ置イテ居リマセヌデシタガ、大藏大臣ナドハ餘程此點ニ重キヲ置カレテ、若シ此表ニシテ誤リガアルトスレバ、此國有ノ計畫ハ根柢ヨリ毀ハレルト云フコトヲ先日申サレマシタ、ソコデ政府デハ餘程此表ニ重キヲ置イテ居ラレルト思フ、ソコデ此表ニ付イテ御尋ネ致シマス、此表ニ據リマスルト、私設ノ會社ヲ統一シテ官營ニナスニ付イテハ、此統一ノタメニ、百二十餘萬圓ノ節約ガ出來ルト云フコトガ、根源ニナリテ居ル、詰リ民設ノ會社デ、營業サセテ居ルノヲ、政府ノ手デ之ヲ統一シテ政府ノ營業トスレバ、此際鐵道ト云フモノハ、餘程廉ク掛カルヤウニナルト云フ計算カラ、四十年間ノ計畫ガ割出シテアル、所ガ今日マデノ有様デハ、官營ト私營ト、此營業費ノ差ト云フモノハ、誠ニ夥シイモノデ、官線ノ營業費ハ一哩ニ付イテ七千何百圓、最モ北海道ヲ加ヘバ稍々營業費ノ一哩當リガ減リハ致シマスルガ、ソレニシテモ尙六千何百圓ノ營業費ヲ、一哩ニ付イテ官線ノ方ハ費シテ居ル、六千三百何十圓ノ金高ニナリテ居ル、然ルニ私立會社ノ鐵道ハ、一哩ニ付イテノ營業費ハ五千三百何十圓ト云フ金高ニナリテ居ル、詰リ官營ト民營トノ間ニ、一哩ニ付イテ、營業費ガ千圓乃至二千圓ノ相違ガアル、若シ二千圓政府ノ手デ官營ヲスレバ、營業費ガ餘計掛カルトスルト、今度買收スルノ二千何百圓、凡ソ三千哩ノ鐵道ヲ、是マデ政府ガヤウ官營ノ仕方ニ依ッテ、營業費ガ掛カルトスレバ、二千何百萬圓ノ營業費ガ掛カルノデアリマス、所ガ私立會社ノ營業

費ト云フモノハ、千七百何十萬圓、其間ニ詰リ六百萬圓ノ差ガアル、今日ノ通、現在ノ通、私立會社デヤテ居ル營業費ノ總高ト、政府ノ官營ノ振合ニ依テ一哩七千圓ノ營業費ガ掛カルトスレバ、二千何百萬圓ト云フ營業費ガ掛テ、詰リ其間ノ差ト云フモノガ六百萬圓ノ差ニナル、是ヲ假ニソレ程マデニ差ガナイ、千五百圓位ノ差デ済ムトシテモ、尙四百五十萬圓ノ差ガアル、假ニ千圓トシテモ、尙二百萬圓ノ差ガアル、ソコデ私立會社デヤテ居ルモノハ、ソレデ済ムガ、政府ノ手デ之ヲヤルトスルト、ドウシテモ營業費ガ一哩千圓高ク掛ルニ止マルトシテ、五百萬圓餘計ニ營業費ヲ使ハナケレバナラヌト云フ結果ニナリマス、然ルニ政府ハ民設デヤテ居ルトキヨリモ、政府ガ統一シテ之ヲヤレバ、其營業費ガ廉ク上テ、收益ガ多ク上ガルト云フ計算カラ、四十年計畫ト云フモノガ割出シテアルノデアリマスガ、是ハドウ云フ方法デ、政府ハ總營業費ヲ廉ク掛テスル方法ガアルノデアリマスガ、今マデノ官線營業振ニ依テ見ルト、必ズ此私線ヲ官線ニ引直シタラバ、營業費ト云フモノヲ増スニ違ヒナイト云フコトハ、誰デモ想像ニ浮ブコトデアリマス、ドウ云フ巧妙ナル方法ガアデ、私立會社デヤテ居ルトキヨリモ、政府ノ手デヤレバ、營業費ガ廉クテ済ムト云フヤウナ計算ガ出テ來ルノデアリマスガ、其計算ガ出テ來ナケレバ、四十年計畫ノ表ト云フモノハ、殆ド根柢カラ毀ハシテシマウノデアリマス、昨日デアリマシタカ、遞信次官ハ官營ニナル以上ハ、成ルベク是マデノ役人風ヲ廢メテ、通俗ニ營業的ニ仕事ヲスルヤウニシナケレバナラヌト云フコトヲ申サレマシタガ、成程ソレハサウ云フ部下ニ命ヲ下シテ表面ダケハサウ云フコトガ出來マセウガ、役人ノ手デスルコトハ、私立會社デスルコトハ、ハマルデ根本ガ違フノデアリマスガ、餘程巧妙ナル手段ガナイ以上ハ、私立會社デヤルトキヨリモ、政府デヤル方ガ廉クナルト信ズルコトガ出來マセウカ、其邊ヲドウゾ十分ニ御説明ヲ願ヒタウゴザイマス、ソレカラ私ハ一ツツ、御尋ラスル積デアリマシタガ、諸君モ頻リニ發言ヲ求メラレマスカラ、度々立ツコトヲ遠慮シマシテ、序ニ今一ツ御尋ヲ致シタイ、ト云フモノハ昨日遞信次官ハ、是マデ持ッテ居ッタ鐵道ノ收益金ハ、總テ特別會計ニシテ、今後ノ各鐵道ノ改良ノ費ニ充テルト云フヤウナコトヲ言ハレタ、是ハ遞信省限ノ意見デアルカ、將タ政府ノ意見デアルカ、勿論遞信次官ハ遞信省所管事務ノ政府委員デアルカラ、遞信省ノ所管係ルコトヲ説明サレノデアリマセウケレドモ、其答辯ハ政府委員タル以上ハ、即チ政府ヲ代表シテノ言葉デアル、サウスレバ是マデノ鐵道ノ益金ト云フモノハ、凡ソ一千万圓位、年々國庫ニ收入シテ、一般會計ノ補足ニナッテ居ルガ、ソレヲ皆取ツテシマッテ、鐵道ノ方ニ持ッテ往クト云フコトハ、政府ノ意見ガサウ定メテ居ルノデアルカ、是ハ念ノタメ同フノデアリマス、定メテ遞信次官ガ、政府ヲ代表シテ、政府委員トシテ答ヘラレタ以上ハ、政府ノ閣議ヲ定メタ、廟議ガ既ニ定マッテ居ルニ違ヒナイト思フ、定マッテ居ラヌ以上ハ、政府ヲ代表シテ言ハレル道理ガナイカラ、政府ヲ代表シテ、即チ政府ノ廟議ト見テ、無論差支ナイトハ思ヒマスケレドモ、尙一應念ノタメ確メテ置キマス、ソレカラ序ニ幸ヒ陸軍大臣モ出席シテ居ラレマスガ、過日來委員諸君ノ御求メニナッテ居ッタ通ニ、此鐵道ヲ國有ニスルニ付イテハ、軍事上ノ必要トハ如何ナルコトデアルカ、事實ヲ舉ゲテ詳シイ説明ヲ願ヒタイノデゴザイマス、是ハ諸君ト共ニ願フノデアル、此點ニ付イテ、私ハ此前三十二年ニ此國有法案ガ提出ニナッタ時ニ、私モ委員ノ一人ニナッテ、餘程陸軍當局者ニ説明ヲ求メマシタケレドモ、一トシテ承知ノ出來ルヤ

ウナ説明ハアリマセヌデシタ、ソレデ、今度ハ是非吾々ノ臍ニ落チルヤウニ、事實上ノ説明ヲ得タイト思ヒマス、ドウゾ是ハ陸軍大臣カラ詳細ニ事實ヲ舉ゲテ、コレノノコトハドウシテモ私立會社トシテヤラセテ置イテハ、軍事上ノ差支ガアルト云フコトヲ、唯統一トカナントカ云フ如キ、漠然タル抽象的ノ言葉ヲ以テセズニ、事實上ニ付イテ御説明ヲ得タイノデゴザイマス

○政府委員仲小路廉君 御答ヲ致シマスガ、先ヅ第一ニ昨日私ガ此席上デ御返答致シマシタ件ニ付イテ、御尋デゴザイマシタカラ、其點ヨリ申上ゲマス、國有鐵道統一後ノ處分ニ付キマシテ、昨日此席上デ申述ベマシタガ、此營業ノ仕振ニ付キマシテハ、此委員會ノ當初ニ、遞信大臣ヨリモ述べラレテゴザイマスガ、私設鐵道ト官設鐵道トノ上ニ於テ、互ニ長短ガアルカラ、雙方ノ長ヲ取り、短ヲ捨アルト云フコトガ、是カラ先キ鐵道ヲ經營スルニ付キマシテ、最モ必要ナルコト、認メテ居ル譯デゴザイマス、ソレデ強チ私設鐵道會社ノ經營振ガ一概ニ惡ルイトハ申サレマセヌ、又官設鐵道ノ經營振モ一概ニ惡ルイトハ申サレマセヌ、其中ニハ自カラ長モアリ、短モアルニ相違ナイ、今日官設デ經營ヲ致シテ居リマスルニ付キマシテ、或ハ一面ニ於テハ、他ノ官衙ノ事業ト違ヒマシテ、幾ラカ營業的ニ渡リマスカラ、今少シ手續ガ簡古ニナッタ宜カラウ、今少シ營業振ヲ簡古シタラ宜カラウト云フコトハ、確カニアルコトデゴザイマス、故ニ官設鐵道ノ營業振ニ付キマシテ、出來得ル限、適切ナル方法ヲ設ケタイト思フノデ、此事ハ政府ニ於テ專ラ調査モ致シテ居リマスガ、漸次其方針ニ依ッテ經營ヲシタイ考デゴザイマス、左様御承知ヲ、ソレカラ尙改良費ノ點ニ付キ、今度私設鐵道ヲ國有ニ致シマスルト、當初ニ多少補足費ガ要ル、工事改良ニ付イテ費用ガ要ル場合ニハ、ドウスルカト云フコトデゴザイマシタガ、是ハ詰リ全體ノ上ニ於テ融和スルコトガ必要デアル、即チ一方ニ足ラナイ場合ニハ、他方ヲ以テ填メ又他方ニ餘ル場合ニハ、此方ニ融通ヲ仕合フト云フ、是ハ御承知デモゴザイマセウガ、詰リ鐵道ノ補充ニ關スルモノデ、年々政府ニ納入シテアル、鐵道收入トハ關係ヲ持チマヘヌ、營業ニ屬スル補充費デ、是ハ今日マデ官設鐵道ノ持ッテ居リマスルコトト、少シモ政府ニ納入スルモノニハ、影響ヲ及ボサナイノデゴザイマス、ソレ等ノ分ヲ以テ一方ニ足ラナイ場合ニハ、他方ヲ以テ之ヲ補フ、雙方融和シ、相適シ、便宜ノ方法ヲサセルト云フヤウナ譯デゴザイマス、サウシテ此事ハ先日モ吳々モ申上ゲマシタ通、マデ計畫中デゴザイマシテ、其事ニ付イテハ、イッレツレハ、纏マリマシタ上、更ニ案ヲ立デマシテ、諸君ノ御協賛ヲ仰グ時機ガアルト思ヒマスノデ、サウ申シタノデアリマス、尙官設鐵道ノ營業振ト、私設鐵道ノ營業振ニ付キマシテハ、是ハ作業局長官ヨリ説明ヲ詳シク申シマス

○政府委員工學博士平井晴二郎君 唯今武富君カラ、從來ノ經驗ニ依レバ、官設鐵道ノ營業費ハ一哩一万六千何百圓デアル、是ニ對シテ私設鐵道ノ營業費ハ、一万五千幾ラ、少クモ一哩二付キ一千圓以上、二千圓位、官設ノ方ガ餘計ニ掛ルト云フ御說デゴザイマシタ、是ニ付イテ一應説明ヲ致ス考デゴザイマス、成程全體ノ鐵道ヲ單ニ哩數ノミヲ以テ平均ヲ取リマシタナラバ、武富君ノ御說ノ如ク、一千圓乃至二千圓ノ相違ニナッテ居リマス、併ナガラ鐵道ノ營業費ナルモノハ、如何ナルモノデアルト云ヘバ

其費用ヲ要スル一番ノ點ハ、運輸ノ數量如何ト云フニアルカラ、私設鐵道全體ノ運輸ノ數量ガ、果シテ一哩ニ對シテ、私設鐵道全體ノ一哩ノ數量ガ、官設鐵道ノ平均シテ、或ハ多イノデアルカ、少イノデアルカト云フコトヲ、第一ニ研究シナケレバナラヌ、ソレヲ研究シタナラバ、一哩ノ平均ト云フモノハ、官設ノ方ガ多イトノミトハ言ヘナイ、次ニ線路ノ狀態如何ト云フコトモ、費用ヲ増スノ大ナル原因デアル、即チ山陽鐵道ノ如キ、殆ド支線ヲ持タヌ、且ツ線路モ曲線モ少ナシ、又勾配モ比較的大變少ナイ、之ニ反シテ官設鐵道ノ東海道ハ、比較的線路ハ宜イケレドモ、唯今作業局ノ所管ニナツテ居ル中央線トカ、信越線トカ、奥羽線ノ如キ、隨分建設ノ當時非常ナ費用ヲ要シタノデアル、且ツ勾配ヲ持チ、非常ナル曲線ヲ持テ居ルノデアル、是又大ニ費用ヲ要スル所以デアル、又次ニ運輸ノ中ノ貨物デゴザイマスガ、貨物ノ大部分ガ如何ナル種類ノモノカ、官設ト私設ト比較シテドウデアルカト言ヘバ、北海道ノ炭礦鐵道ノ如キ、重モ二石炭ノ如キ、粗雜ノ物デ費用ヲ要サヌデ、車ニ一杯積マレシ鐵道モアリ、九州ノ如キモ炭礦ト均シキモノトハ認メマセヌケレドモ、比較的石灰ヲ澤山ニ運ンデ居ル、或ハ日本鐵道ノ如キハ、材木或ハ農產物ヲ澤山ニ運ンデ居ル鐵道ト、官設鐵道ノ費用ヲ澤山ニ要スルトコロノ東海道ノ荷物ノ種類ヲ考ヘラレタナラバ、餘計ノ費用ヲ要スルノハ勿論ノ話デアリマス、故ニ此所ノ場合私ガ諸君ニ申上ゲタイノハ、單ニ鐵道哩數ヲ以テ、一哩幾ラダカラ高イ廉イト云フコトヲ言ハレルノハ、土臺基礎ガ間違ッテ居ルノデアル、決シテサウ云フコトト比較ノ出來ルモノデナイ、費用ヲ要スル要素ヲ能ク調ベラレテ、御研究ニナツタナラバ、決シテサウ云フ議論ハナイト思ヒマス、尙詳シイコトデ御質問ニナリマスナラバ、御答致シマスガ、段々是以上申上ゲレバ數字ニ涉ッテ申上ゲナケレバナラヌカラ、啗ニ官設鐵道必シモ費用ヲ要スルノデナイ、餘分ノ費用ヲカケテ營業シテ居ルモノデナイト云フコトヲ申上ゲル、又此處ニ武富君ガ仰シヤイマシタ百二十萬圓ト云フ費用ガ減ルト云フ計算ヲ出シマシタ、其事ハ過日モ鐵道局長カラ申上ゲマシタカラ、特ニ茲ニ再ビ申述ベル必要ハナイト思ヒマス

○陸軍大臣寺內正毅君 過日淺野君カラ、私ガ當席ニ居ラヌ時ニ、御質問ガアッタヤウデス、又唯今武富君カラノ御説モ出マシタガ、一言私カラ軍事上鐵道國有ノ必要ト云フコトヲ申上ゲテ置キタイト思フ、此ノ軍事上鐵道國有ニシテ置クノハ必要デアルト云フコトニ付キマシテハ、大體ヲ過日大石君ノ御尋ニ對シテ答ヘテ置キマシタガ、其答ハ頗ル茫漠トシテ居ル、甚ダ要領ヲ得ナイト云フヤウニ御考カモ存ゼヌガ、大趣意ハソコニアルノデ、過日淺野君ノ御述ベニナツタ中ニモ、イロ／＼自分ノ述べタ事ヲ御舉ゲニナツテ、其最後ニ第三ノ理由ニ「國有ニシテ始メテ一絲不紊一ツノ手が指ヲ使フガ如クニシナケレバナラヌ、斯ウ云フ理由デアッタケレドモ、最後ニ私ガ聽取リマシタ理由ハ、即チ是ハ陸軍大臣ノ一ノ大抱負デアル、是ノ如キコトハ古來實行ニ於テ未ダ當テ見ナイコトデアルカラ」云々ト斯ウアル、是ハ其陸軍ノ鐵道ヲ國有ニシヤウト云フ大目的デアル、何ゾ單ニ陸軍大臣タル私ノ抱負ト云フノミデハナイ、細目ニ互フデ申シマスレバ、事實的ニ一ツノ事ヲ假定シテ話シマセウ、例ヘバ過日モ論シタヤウニ、受身ノ國防ヲ實行スルト考ヘル、紀州ノ半島ニ敵ガ上ツタスル、其時ニハ先ヅ紀州ノ半島ニ向ッテ、敵ノ企圖シタ冀望ヲ挫折スルダケノ兵力ヲ集メナケレバナラヌ、其時ニハ則チ大阪ノ師團ハ速ニ集中

モスルデアラウ、又第十師團ノ如キモ必要ニ依ッテハ、第五師團モ集メナケレバナラヌ、又第三師團モ集メナケレバナラヌ、斯ウ云フ事モ起ル、此場合ニ此鐵道ヲドウ使フカト云フコトデアル、即チ此中央ノ作戰部ハ、東京ニ在ルカモ分ラヌ、東京ニアル者ノ一ツノ命令デ此鐵道ヲ使ハナケレバナラヌ、即チ其兵ヲ集中スルタメ、例ヘバ和歌山——大阪ト和歌山ノ間ニ兵ヲ集メルニ、山陽鐵道ヲ經テ、大阪カラ大阪ノ南ニ集マル、關西鐵道ヲ經テ名古屋カラ集マル、此一ツガアル、其時ニ關西ノ鐵道モ、山陽鐵道モ、皆使ハナケレバナラヌ、是ノ如キ場合ニ於テハ、固ヨリ此中央ノ作戰ヲ指揮スル者ガ、此鐵道ヲ動かサナケレバナラナイ、是ガ一絲不紊ヤウニ使フト云フ希望デス、ソレガタメニハ總テノ材料、總テノ人員ナリ、總テノ規定ナリ、固ヨリ統一サレテ居ラヌケレバ、是ガ十分ニ往カヌト云フコトハ分ル、又材料ノ如キモノモ、一ノ小會社デアルト、小資本ニ對シテ小利益ヲ爭フノデアルカラ、非常ナル必要ノ材料ヲ造ル必要ハナイ、貨車ナレバ三噸カ四噸ノモノガ出來ル、客車ナレバ二十人乗、三十人乗ノ客車ガ多イ、ソレ等ノ材料ヲ集メテ、兵ヲ輸送スルト云フコトヲシナケレバナラヌ、サウシテドウナルカト云ヘバ、此種々ノ車ヲ以テ造ッタ列車ニハ、專門ノ軍事カラ論ズル單位ノ極ッタク兵ヲ送ルコトハ出來ナイ、例ヘバ中隊ヲ纏メテ載セルトカ、大隊ヲ纏メテ輸送スルコトハ出來ナイ、三百人トカ四百人トカニ切ラナケレバナラナイ、故ニ戰術ノ目的カラ言ヘバ、大イニ理窟ガ惡クナル、ソレデ一列車デ、若シ四十人乗ノ車デ、二十五輛ノ一列車ガ編成ガ出來ルトスレバ千人ノ人間ガ積メル、千人ハ殆ド一大隊ニ當ル、是ダケノ者ガ一列車デ往ケバ、一聯隊ハ三列車デ往ケルト云フモノガ、若シ二十列車ヨリ付ケルコトガ出來ナイ、其車モ一定シタモノデナイト云フコトニナルト、六百八人乗セル、七百八人乗セル、斯ウ云フコトデアル、其者ガ戰場ニ集マル、直チニ使フ譯ニ往カナイト云フヤウナ譯ニナル、ソレ等ノ材料ノ整一ト云フコトハ、唯今前ニ述べル小資本ノ會社ノ、小資本ノ中ノ利益ヲ爭フダケノ事デハ材料ノ整備ナド、云フコトハ出來ルモノデハナイ、事實ニ於テ出來ナイ、己ノ損失ヲ顧ミズニ、有事ノ時ノ材料ヲ整備シテ置クト云フ譯ニ往キマセヌ、之ニ反シテ全國統一ノ鐵道會社デアッタナラバ、先ヅ此運輸モ總テ大キクナリ、經濟モ大キクナリ、又利益モ大キクナル、サウスレバソレダケノ事ハ準備スルコトガ出來ル、斯ウ云フマア譯ニナル、ソレカラ又今ノヤウニニツト假定シテ申シタヤウナ時機ニ於テ、總テ例ヘバ二十萬ナリ、三十萬ナリノ兵ヲ其地方ニ集メル、殆ド全國ノ材料ヲ皆其地方ニ向ケテヤラナケレバナラヌ、サウ云フ時ニナルト、材料ヲ集メルノミナラズ、人員モ足ラヌ、斯ウ云フ事ニナル、其時ニハ他ノ必要ノナイ地方ノ人員材料ヲ此方ヘ集メテ使ハナケレバナカヌ、是モ各個ノ私立會社銘々ノ利益ヲ爭フコトニナルト、甚ダ實行ガ出來ナイ、是モ即チ統一サレテ居レバ一ノ中央ノ命令デ直グ使フ、斯ウ云フコトニナル、ソレ等ノ非常ナコト、所謂寸分ヲ命フデ、兵力ヲ注集スルト云フ時ニハ非常ナ利益デアル、ソノ他細カイ事ヲ言フタラバ、今デモ各鐵道會社ノ規定、ソノ他ニ悉ク此官線ト一緒ノ規定ヲ用テ居ッタ處モアル、又停車場ノ設備デモ、悉ク自分ノ會社ノ經濟的ニヤル仕事以外ニ、大キナ停車場ヲ造ル譯ニモイカス、又此人員ノ流用ノ如キモ、自分ノ範圍デハ往カナイ、サウ云フヤウナ事柄ガ、總テ此統一ヲスル上ニ於テ、最モ小部分ナコトデハアリマスルガ、必要ナ事柄デア

軌道ノ事、サウ云フモノガ總テ一定シテ居ルト云フコトハ、非常ナ利益アル、此等ハ大體ニ於テ——細カイ事柄ハ元ト是ハ各個各別デアッタ、所ガ此前ノ二十七八年ノ戰役ノ時ニ、鐵道ヲ軍事的ニ使用シテ、大ニ其不便ヲ感ジタ當時モ、金額ハ確カニ覺ヘマセヌガ、全國ノ兵ヲ動カステメニ、停車場其他ヲ補修シテ使シタメニ、數百萬ノ金ヲ使シタノデア、其後ノ實驗ニヨリテ諸會社ヲ統一スルタメニ鐵道ノ共用令ナルモノヲ作ッテ、ソレデ此大體ノ統一タケハ付ケタ、付ケタガ、今ノヤウナ大キナ仕事ヲスル時ニ、此人員材料ノ供給ト云フヤウナ事ハ、ナカク出來ナイ、此等ハ最モ統一スル上ニ於テ必要ナル理由、ソレデサウ云フ風ニナッテ、今日ハ來テ居ルノデス、今日尙之ヲ進メテ一ツノ統一シタ國有鐵道ニスルト云フコトハ、今ノヤウナ事實ニ於テ、必要ガ最モアル、又今ノヤウナ例バ紀州ニ敵ガ上ガタ時ヲ、想定シタラ、甚ダ便利アル鐵道モ一本通ッテ居、併ナガラ是ガ若シ越後地方ニ敵ガ上ガタ時ニハ、之ト反對ニ用非ナケレバナラヌ、サウ云フ時ニハドウ云フ便利ガアル、ドウ云フ不便ガアルト云フコトハ、今ノ鐵道、港ノ成立ヲ考ヘテ見デモ大概分ル、ソレデ此等ノ總テヲ國防ノ上ト、平素ノ運輸ノ上ト總テヲ聯繫シテ施設スルト云フコトハ、鐵道ヲ合併シテ政府ノ一手ニ握ッテヤルト云フコトガ、一番良策ト考ヘル、何ゾ過日淺野君ノ御問ニナッテ細カイモノ、統一ト云フコトハ、是ハ詰リ大體ノ國有ト云フコトヲ極メタ、其中ノ枝葉ノ問題アル、デツレ等ノ枝葉問題ガ決シナケレバト云フ、ソレガ主トシテ國有ノ理由デハナイ、國有ノ理由ト云フコトハ、此鐵道ヲ一ノモノニシテ、大キク使フ、大キク使ヘバ經濟的ニモナル、又國防ノ上ニモ利益アル、斯ウ云フコトノ大體ノ議論、ソレデ之ヲ事實ニ舉ゲルト云ヘハ一ノ戰サハ此地内地ニ引受ケテ、實驗シナケレバ實地ニハナラヌカモ知レヌ、併ナガラ數理ノ上デ論ズレバ、今ノヤウナ事實ヲ詳シク舉ゲテ論ズレバ、今ノ無イ處ニモ鐵道ヲ通ジテ置カナケレバナラヌ、又今日アル鐵道モ此線ハ複線ニシテ置カシケレハナラヌト云フコトモアル、又停車場ノ如キモ、此停車場ハ小、是ハ大キクシテ置カナケレバナラヌ、サウ云フ事モアル、ソレ等ノ事ヲ今日一々小資本ノ會社ニ向テ命ジタトコロガ出來ルモノデナイ、又政府モ唯有事ノタメニ一時ニソレタケノ金ヲ出シテ悉ク、拵エルト云フコトハ甚ダ困難、ソレデ總テノモノヲ統一シテ、運輸ヲ大キクシテ、資本ヲ大キクシタラバ、其餘裕ヲ以テ幾ラ改良モ出來ル、又隨テ運輸モ大キクナレバ設備モ大キクシナケレバナラヌ、ソレハ軍事ノ必要ト伴フテ往ク、ソレデ此鐵道國有ト云フコトハ、區々タル小議論デハナイ、ソコハ能ク御承知ヲ願フノデ、大體唯今申シマシタコトハ、甚ダ前後不順序デアッタカモ知レマセヌガ、要旨ハ盡シテ居リマスト思ヒマスカラ是デ……

○渡邊修君 段々御質問モアリマシタガ、大事ノコトガ落チテ居ルヤウニ思ヒマスカラ、尙御尋ネ致シマス、此第九條ノ審查委員是ハ、最モ大切ナ委員ト思ヒマスル、殊ニ此委員ノ決定ハ終局トモナッデ居ルノデゴザイマスカ、此審查委員ノ組織ハドウ云フヤウニナサル御積デアリマスカ、之ヲ詳シク承ッテ置キタイ

○政府委員山之内一次君 唯今渡邊君ノ御尋ニ御答ヲ致シマス、審查員ノ事ハマダ十分ナル閣議ノ終ツタモノデハゴザイマセヌカラ、確定シタモノヲ御答スル譯ニハ往キマセヌケレドモ、是ハ官民間ノ餘程重モナル人ヲ集メテ、組織スル積ニナッテ居リマス

○渡邊修君 官民トモデスナ

○政府委員山之内一次君 サウデス、ソレカラ此際ニ序ニチヨット昨日御尋ノコトニ付イテ、マダ御答スル機會ノナクテ殘ッテ居ルモノガアリマスカラ、ソレヲチヨット御答ヲ致シマス、ソレハ早速君ノ御尋ノ事ト、大戸君ノ御尋ノ事ガ、少シマダ答ガ殘ッテ居リマシタ、此點ニ付キマシテ、此場合ニ御答ヲ致シマス、早速君ノ御尋ノ中ニ、政府ハ之ヲ買收シタナラバ、尙二億以上ノ改良費カ修繕費ヲ要スルデアラウ、サウ云フ修繕ヤ改良ヲスル必要ハアルヤ否ヤト云フ御尋ニアッタヤウニ思ヒマスカ、此二億圓以下ト云フノハ、ドウ云フトコロカラ御算當シタモノデアルカ、頗ル了解ニ苦シマスカレドモ、詰リ修繕ヲ要スル箇所モ餘程多イノデアラウト思フガ、ソレハ二億圓以上モアラウト云フヤウナコトデアラウト思ヒマスカ、政府ノ見ル所デハ修繕ト申シマスノハ、先刻武富君ノ御尋ニモ御答ヲシテ置キマシタガ、是ハ建設ノ現狀維持ヲ保ツト云フ性質ノモノデアリマシテ、ソレハ年々營業費ヲ相當ヲ修繕ヲ加ヘテ往クコトニナッテ居リマスカラ、必ズ買收シテ修繕費ヲタメニ非常ナ費用ヲ要スルト云フコトハナイ積デアリマス、ソレカラ改良費ト申スモノハ、是ハ度々今マデモ御答シタ通、其必要ガアリマシテ、改良ヲ要スルモノデアリマスカラ、今直チニ私設鐵道ヲ政府ガ買上ゲタタメニ、非常ニ多額ノ改良費ト云フモノヲ一時ニ用非ナケレバナラヌト云フコトハ認メマセヌノデアリマス、必要ニ應ジマシテ、必要ノアッタゲケノモノハ、相當ナ財源デアリテ往クコト云フコトヲバ、此間御答致シテ置キマシタ、ソレカラ大戸君ノ御尋ノ、此經濟上ニ關スル關係カラシテ、運搬力ノ増加、運賃ノ遞減、設備ノ整頓、營業費ノ節約ト云フヤウナコトニ付イテ、御尋デアリマシタガ、此運搬力ノ増加ト云フコトニ付キマシテハ、細カク申マスト、イロ／＼澤山アリマスカレドモ、先ッ此第一車輛ノ融通ト云フコトガ一緒ニナリマスト、出來ルノデアリマス、此荷物ガ季節ニ依リマシテ、餘程東ノ方カラ多ク出ル季節アリマシ、西ノ方カラ多ク出ル季節アリ、又北ノ方カラ、南ノ方カラ各々出ル季節ガアリマス、故ニ必シモ一定シテ居リマセヌカラ、ソレガタメニ、此統一ヲサレマスト、北ノ方ニ要ル時分ニハ、直チニソレヲ北ニ向ケルコトガ出來マシ、南ノ方ニ要ルトキハ、直チニ南ノ方ニ向ケルコトガ出來ル、サウ云フ配置ナドガ、自由自在ニ出來マシ、同ジ設備ニ致シマシテモ、運搬力ノ増加ト云フコトハ、統一ノタメニ非常ナ利益ヲ得ルコト、思ヒマス、ソレカラ運賃ノ遞減ト云フヤウナコトノ御話ガアリマシタガ、是ハ詳シク申シマスト少シク茲ニ調ベタモノモアリマスカレドモ、今此各會社、官線區々ニナッテ居リマスタメニ、遠距離ノ遞減ナドト云フコトモ一會社毎ニ行ハレテ居リマスカラ是ガ一ツニナリマスト、餘程遠距離遞減ト云フタメニ、運賃ガ減ズルノデアリマス、例ヘテ申シマスレバ、青森カラ下ノ關ニ參リマス旅客ノ賃銀ニ致シマシテモ、今日ノトコロデハ、日本鐵道、ソレカラ官線、山陽ト云フヤウナ風ニ別レテ居リマスタメニ、遠距離遞減ガ十分參リマセヌ、是ヲ今日ノトコロデ合計シマスト、下等賃銀ニ致シマシテ十二圓四十五錢トナッテ居リマス、是ガ今日ノ作業局ノ遠距離遞減法ニ致シマシテ、計算ヲ致シマシテモ、十圓四十六錢トナリマスノデアリマス、是ハ單ニ一ノ例ヲ申シタノデ、其他ニモ例ハ澤山ゴザイマスカ、ソレカラ貨物ノ例ヲ申シマスト、此新潟カラ東京ヘ米穀ヲ送出スニ付キマシテ、現行ノ割引運賃ニ依リマスト、丁度北越線カラ信越線、日鐵ト云フ風ニナリマスカ、是ガ丁度一噸ニ付キマシテ、五圓十二錢ニナリマスノデアリマス、是ヲ一ツニ合セマスト、遠距離遞減法ニ依リマシテ、三圓九十二錢八厘トナルノデアリマス、ソレカ

ラソレハ單ニ遠距離遞減ノタメニ、運賃ノ減額ニナルト云フコトノ例デゴザイマスガ、其他此遠距離遞減以外ニモ、今マデ段々御答致シマシタ通、尙運賃ガ下ゲ得ル見込ガアルノデアリマス、併ナガラ、大戸君モ御話ノ通、線路ニ依リマシテハ、一杯ノ所モアリマス、例ヘバ現ニ山陽ノ如キハ、逆モ此現今遺テ居リマスルノハ、先ズ私ノ考デハソナニ減額シ得ル見込ハナイト思フ、故ニ現ニ山陽デモ今日デハ甚ダ困難ヲ致シテ居リマシテ、運賃上ゲタイト云フ希望モアル位デアリマス、ソレカラ設備ノ整頓、是ハ段々今軍事上ノ關係カラ、陸軍大臣カラモ御話ニナリマシタ通、一式ノモノガ整頓シ得ルコトニナリマスト云フト、餘程一ツニナリマス、ソレカラ例ヘバ工場ナドニ致シマシテモ、今日デハ、大宮ニモアレバ、新橋ニモアリ、神戸ニモアレバ、山陽ノ鷹取ニモアル、銘々區々ニナツテ居リマスケレドモ、之ヲ一ツニシマス、適當ノ場所ニ大工場ヲ設ケ、ソレカラ小工場、ソレカラ分工場ト云フヤウニ、いろ／＼ナ諸設備ト云フモノガ整頓スルコトニナルノデアリマス、ソレカラ營業費ノ節約、是ハ私設ノ方ガ宜イト云フヤウナ御話モアリマシタガ、是ハ先刻平井作業局長官カラ詳シク御話ニナリマシタカラ、申シマセヌ、ソレカラ外國ノ例ガアルナラバ、知ラセテ貰ヒタイト云フコトデアリマスガ、實ハ是ハ吾々ドモノ頭ヲ拵ヘマス參考ニ調ベタモノデアリマスカラ、必ズ大戸君ノ參考ニナリ得ルト云フコトハムツカシウゴザイマスガ、一二調ベタモノガアリマスカラ、差上ゲマス

○新井章吾君 私ハ極ク簡單ナ質問デアリマスカラ、遞信省ノ政府委員ニ御答ヲ願ヒタイ、此本案ノ第二條ノ第二項ニ掲ゲテアリマス、即チ未ダ運輸ヲ開始セザル鐵道ト云フノハ、其會社ノ名前ヲ舉ゲマスレバ、ドレデゴザイマセウカ、私カ認メマスルノハ、横濱鐵道ト、備後鐵道ト一ツホカナイト思ヒマスガ、其以外ニアリマスナラバ社名ヲ御示シテ願ヒタイ、モウ一ツハ備後鐵道、今日マデノ建設費ハ幾ラニナツテ居リマスガ、ソレカラ備後鐵道ハ、竣工期限ハ疾ニ過ぎ去ッテ、更ニ延期ヲ許可ニナツテ、本年三月十九日ガ滿期ニナツテ居リマス、目下會社ヨリ又延期ノ願デモ出テ居ルノデアリマスガ、如何ニナツテ居リマスガ、此三點ヲ御尋致シマス

○政府委員山之内一次君 唯今ノ御尋ニ御答ヲ致シマス、如何ニモ第二條ノ二項ニ當リマスモノハ横濱鐵道ト備後鐵道ト一ツト存ジマス、其建築費ハ今手許ニ持ツテ居リマセヌカラ、調ベテ差上ゲマス、ソレカラ備後鐵道ノ竣工期限ニ付キマシテハ、御話ノ通、三月十九日ニナツテ居リマス、是ニ付キマシテハ、唯今設計變更ノ願ガ出テ居リマス

○委員長長谷場純孝君 此場合諸君ニ御諮リ致シマス、モウ十二時二十分ニモナリマシタガ、茲デ休憩シテ本委員會ヲ續ケマスガ、又ハ本日ハ是デ委員會ハ止メマスガ、委員長ハ今日デ大體ノ質問ヲ止メテ、明日討議ニ掛ラウト思ヒマスガ、諸君ノ中ニ、マダ質問ガ澤山アルト仰シヤルナラ、明日モ質問會ヲ開イテ、宜シイト思ヒマス

(「本日ハ是デ止メテ明日ニ願ヒマス」ト呼フ者アリ)

○委員長長谷場純孝君 ソレデハ明日午前十時カラ、此會ヲ開キマス、今日ハ是デ散會シテ明日又質問會ヲ開キマス、是デ散會致シマス

午後零時二十一分散會